

骨髄バンク 2002年9月 会報20号

日本骨髄バンク骨髄提供希望者(ドナー)登録者数:157,649人(県内2,431人)
 骨髄移植希望者(患者数):1,875人(県内数10月末公表予定)
 バンクを通じての移植例数:4,338例(県内移植数、県内採取数10月末公表予定)
 (2002年8月末現在)

「茨城夏の陣」で大きな成果!

7月～9月にかけて、県内各地で骨髄バンクドナー登録会とチャリティー募金活動が行われました。
 その結果、合計111名と非常にたくさんの方に登録をいただきました。うだるような暑さの中、登録会・募金活動に参加された皆さん、本当にお疲れさまでした。

開催日			イベント・会場名	登録者数	募金額
月	日	曜日			
7	29	月	総和町役場	7名	
	30	火	下妻市役所	15名	
8	7	水	大宮町役場	8名	
	21	水	取手市役所・ 取手市医師会病院	12名	
	24	土	ペンシルバルーン・チャリティー募金 ボンベルタ伊勢甚日立店	-	21,575円
	26	月	土浦市役所	19名	
	26	月	ひたちなか市役所	20名	
	29	木	青少年センター(日立)	6名	
9	8	日	まつりつくば つくばインフォメーションセンター&つくば献血ルーム	24名	

登録会・イベント情報

皆さまのご協力を!!!

<登録会>

10月24日(木) 農林水産技術会議事務局 筑波事務所(つくば市) 9:30~15:00
 31日(水) 鹿嶋市役所 9:30~14:30

<イベント>

県民まつり
10/12(土) 10:00~17:00
13(日) 10:00~15:30
 場所:笠間芸術の森公園及び
 笠間工芸の丘
 主催:茨城県、笠間市、
 大好きいばらき県民会議、
 (財)自治総合センター
 参加内容:
 バルーン募金&PR(ビデオ)
 荒天の場合中止

石岡まちづくりフェスタ
10/26(土) 10:00~16:00
 (9時集合)
 場所:ミナミポウル
 市立図書館付近
 石岡市若宮町3丁目
 主催:石岡青年会議所
 参加内容:
 ペンシルバルーン募金&骨髄
 バンクのパネル展示

映画「いのちのあさがお」
 上映会(仮題)
11/17(日) 14:00~
 場所:ふれあいの里石岡
 ひまわりの館
 石岡市大字石岡10527番地の6
 主催:石岡青年会議所
 内容:石岡市内及び近隣市町村の
 小学校に呼掛け、映画「いのち
 のあさがお」を上映後、約1時
 間の講演を行い、命の大切さを
 呼びかける。

ドナー登録者30万人をめざして!

7～9月 茨城県内イベントおよび登録会報告

7/29 総和町登録会報告

7月29日(月)に総和町役場にて、ドナー登録会が実施されました。天気は快晴で暑かったけれど、何とかこれなら我慢できそうな陽気の中、古河保健所、町保健センター、総和町ライオンズクラブ、いばらきの会から、岩瀬さん、鈴木で登録会を実施いたしました。

事前申し込みが、ゼロとかなり不安でしたが、登録者は7名でした(献血受付者119名)。今回は、通りすがりの町長へも骨髄バンクのパンフレットとうちわを渡しつつバンクへの協力をお願いしました。町長は、すでに登録しているとのことでした。岩瀬さんに説明員として頑張ってもらい、また、セメダインの粗品をいただきました。

ご協力くださいました方々、ありがとうございました。(鈴木秀文)

コメントコーナー 7月29日に茨城県のはじっこにある総和町にて登録会が実施されました。自分の会社の目の前で、会社と役場には前もって広報活動をしておいたのですが、頼んだ人のほぼ全員が出張で思っていた人数よりも遙かかけ離れた数になってしまいました。

来年もめげずに頑張っって呼びかけをしようと思います。(岩瀬健二)



真剣な顔で登録者を待つ鈴木さん

7/30 下妻市登録会報告

去る7月30日、献血並行型の登録会が下妻市で開催されました。当日は夏本番と言うような暑い日で、朝の準備から汗だくでした。自分も前日総和に続いて連日の登録会だったせいか少し夏ばて気味だったような気がします。

さて、登録会については、予約者ゼロと少し不安はあったものの、市の職員と保健所の方の働きで、登録者数は15名と思ったより成果が挙げられほっとしました。やはり、平日の昼間とあって町中を歩いている人は少なく、献血に来てくれた方をお願いする方法を取りつつ、市の職員にも声をかけて協力していただきました。

当日は下妻保健センターで宮本所長補佐兼健康増進係長と保健所からは武井係長、福永係長の予定でしたが、前日食中毒が発生したことにより、保健所の総務課から1名手伝いに来ていただきました。いばらきの会から、牛島・萩原・岩瀬の3名が参加。皆さん、暑い中本当にご苦労様でした。(岩瀬健二)



説明も堂に入った岩瀬さんと萩原さん

コメントコーナー 今回は説明員研修も兼ねているので初めて何人かの方々にドナー登録の説明をしました。夏の暑い中、多くの人に登録して頂き感謝です。市役所の職員の方々も大変協力的でした。

次回より説明員デビューします。頑張ります。(萩原千春)

8/7 大宮町・8/26 ひたちなか市・8/29 青少年センター 登録会報告

8月7日は大宮保健所協力のもと、大宮町役場で行われ、8名の登録者でした。この日の参加者は、大宮保健所の青木さん、県業務課の床宿さん、牛島さん、中津川の4名でした。

また8月26日には、ひたちなか市役所で行われ、20名という結果でした。ひたちなか保健所の江橋さんと中津川の2名で対応し、しんどかった部分もありましたが、何事もなく無事、終了することができました。

最後に8月29日は日立市の青少年センターで行われ、6名の方にご登録いただきました。午前中、日立保健所の方3名に登録いただきましたが、もしや関係者のみ(?)、と内心、不安になりましたが、午後から3名の方に登録いただき、上記の結果となりました。この日の参加者は、日立保健所からは今川さんをはじめ3名の方と、岩瀬さん、瀧さん、山崎(晃)さん、中津川の計7名でした。

無事、茨城夏の陣を乗り切ることができ、一安心しています。しばらくは体力、気力の回復に努めます。

最後に、登録会に参加された皆さん、大変お疲れ様でした。(中津川智彦)

8/21 取手登録会報告

午前中に取手市役所、午後は取手市医師会病院で行われ、合計で12名の登録者を得ることが出来ました。午前午後で別会場方式は県内では初めての事です。参加者は伊井さんと私で、説明は全て伊井さんをお願いしました。

午前の市役所登録会場で安部りおちゃんの元気な顔を見ることが出来ました。お母さんとおばあちゃんも一緒に、取手支部長の貫井さんもお見えでした。8月19日に取手市役所で行われた記者会見の様子は新聞各紙で大きく報道されましたが、ご覧になった方もいらっしゃるでしょう。

4月下旬の移植、7月下旬の退院という順調な経過で、髪の毛も伸びてきつつあり、お顔もGVHDの影響は無いようで、本人はいたって元気そうでした。お母さんとおばあちゃんからは、いばらきの会の支援に感謝の気持ちとお礼の言葉をいただきましたので、私も会を代表して順調な回復を心からうれしく思っている旨と会員一同とても喜んでることを伝えました。

りおちゃんと会ってすぐに握手(といってもこちらが一方向的に手を握った)しましたが、初対面のヒゲヅラのオジサンに対して最初は硬い表情でしたが、いろいろと話を聞くことが出来ました。貫井さんから入手した新聞記事によれば、2週間に一度の通院で、10月からは小学校への登校もできるようになるとか、食べ物はグレープフルーツ以外は何でもOKだそうで、お刺身もおいしく食べたとか。移植を受け、患者さんが元気になった姿を見ることが出来ることは、私達ボランティアにとり最高のプレゼント・喜びであり、今後の活動の糧となるものです。患者さんご本人やそのご家族の喜びにあふれた笑顔が見たくて、またがんばらうと思うのです。

りおちゃんのドナーさん、基金にご芳志を寄せていただいた方々、心の中で支援していただいた皆さん、そしてこども病院の医療スタッフの献身的なご尽力、財団コーディネーターのご努力、その全てに感謝します。どうもありがとうございました。ほんとによかった。りおちゃんに未来をありがとう！(牛島英二)

8/24 ペンシルバルーン・チャリティー募金活動(ボンベルタ伊勢甚日立店)

8月24日(土)ボンベルタ伊勢甚日立店のリニューアルに伴うセールにおいて今年イエローシートキャンペーンでそれぞれ商品をいただいた上位3団体のPRキャンペーンを企画していただき、当会から牛島・伊井・瀧の三名と日立在住で弟さんに骨髄提供なさった桐木さんも駆けつけてくださり、29日に開催された日立青少年センターでの登録会のPRとペンシルバルーン募金活動を行いました。

牛島氏は昼食時間を私たちより一時間程遅らせざるをえない大盛況で幕引き。21,575円の募金があり、ボンベルタ伊勢甚さんに感謝です。



これがシート投函ボックスです「いばらきの会」が1番かな？

また、たまたま25日には、企業ボランティアで社協に登録しているボンベルタ伊勢甚日立店の早朝清掃が河原子海水浴場で7時より約2時間近く予定されており、色々当会に配慮して下さる企業のお手伝いも人と人とのつながりを作る為には必要かと参加してきましたが、お陰さまで爽やかな一日を過ごす事ができました。



河原子海岸早朝清掃 瀧さんはどこ？

また、9月16日には同店で盲導犬と介助犬の育成キャンペーンがあり仕事が無かった為、ペンシルバルーン募金活動のお手伝いに駆けつけてきました。もち、当会の制服での参加でしたので「どうして？」と言う意見の方もおりましたが、これも当会の小さなPR活動になるかと、事あるごとに正装している次第です。合掌(瀧公恵)

(追記)24日のイベント終了後、手にバルーンタコを作った3名は居酒屋「鴨亭」で反省会と今後の活動についての討論会を行いました。巷の噂によると若干一名が自宅までたどり着けなかったとか。皆様、呑み過ぎにはくれぐれもご注意くださいませ(笑)



早く準備しなくちゃ



お嬢ちゃん、どれがいいかな？



他のボランティア団体と一緒に

8/26 土浦市登録会報告

毎週木曜日の定期的に登録を行っている土浦保健所から数百mしか離れていない市役所での登録会。

当日は天気もよく、登録会日和でした。予約は無しで内心不安でしたが受付20名のところ19名の登録者で、ちなみに献血受付 55名 採血 47名で、献血者の割には登録数が多かったようで無事に終わってほっとしました。

そして嬉しい事に取手の安部李緒ちゃんが退院して間もないのに体調が心配でしたが、おばあちゃんとお母さんと一緒になって、元気にチラシ配りを手伝って頂き、お母さんはドナー登録をし、李緒ちゃんも一緒に登録の模様を観て何か感じるものがあったことでしょう。

参加者は保健所の長山さん含む3名、いばらきの会より牛島さん、伊井さん、萩原さん、安部ファミリー、山崎。李緒ちゃんの元気な姿が観れたちょっと嬉しくもありボランティアをやって良かったと感じる登録会でした。(山崎揚久)

りおちゃんとの記念写真



コメントコーナー

りおちゃん退院おめでとう。
この前の取手ではおばあちゃんにしか会えなかったけど、今日はみんなに会えました。やっぱり、元気な姿が一番ですね。
でも、チラシ配りが建物の外でしかダメだなんて誰が決めたんでしょうね。お日様にあたるのがりおちゃんには良くないっていうのに…もっと臨機応変に対応して欲しかったです。(伊井義人)

9/8 まつりつくば登録会報告

朝から雨模様で出足を心配していたんですが、登録会開始頃には雨も上がり、祭りに訪れる人々も次第に増え、気がつくとき沿道は人でいっぱいになっていました。

でも、さすがに祭りということで、ほとんどが親子づれや若いカップル(古いかな?)。人出の多さに比べると、登録者数24名はちょっと不足かなって感じですが、昨年開催時の2倍という数字には満足です。

参加者はつくば保健所の田崎係長、野口さん、いばらきの会から牛島さん、鈴木さん、岩瀬さん、伊井。そして特に今回は強力な助っ人に来てもらいました。常総学院高等学校2年の烏山君、鈴木君、塙君の3人です。

彼らはチラシ配りはもちろん、朝の準備から片づけまで手伝ってくれました。チラシ配りに最初はとまどっていた彼らも、大ベテラン牛島会長直々の手ほどきを受け、見る見る上達したそうです。やはり高校生が配るチラシは受け取りも良く、午前中で用意したチラシがなくなり、急遽大量コピーして午後に間に合わせました。今回24人登録の功労者はやはり高校生パワーでしょう。

このように高校生がボランティア活動に参加してくれるということは、本当に喜ばしいことです。我々にはもちろん彼らにとっても大変大きな成果ではなかったでしょうか。登録会の平日開催が多い中、貴重な休日開催には今後も彼らのように高校生(中学生)ボランティアが集まってくれるといいですね。

来年は今年の倍増目指すぞ！高校生バンザイ！！(伊井義人)

コメントコーナー

いや～びっくりしました。
たくさんの人、そしておまつりそのものに、つくばはすごいですね。
そして前日予約が無かったのに24名の登録者とは…さすが さんの住む町だ。
お金があれば住みたい町です。これじゃコメントにならないかな…(岩瀬健二)



淡々とこなす烏山君



声かけじょうずな鈴木君



テンポのいい塙君



学校提出用???

りおちゃん退院おめでとう！

当会のホームページでも呼びかけておりました安部李緒ちゃんが、このたび患骨髄移植に成功し、無事退院することができました。私達の活動目標は全国の患者さんを救済対象としており、特定の患者さんを対象としているものではありませんが、こうしたうれしい実例は我々に力を与えてくれるものであります。

りおちゃん、ご家族の皆さま本当におめでとうございました。（新聞記事情報提供：茨城県議会議員井手よしひろ氏）



家族たちと一緒に元気になった姿を披露した安部李緒ちゃん（左から2人目）取手市役所

白血病克服した李緒ちゃん（取手小5年）

急性骨髄性白血病を患い闘病生活を送っていた取手市取手、無職、安部雅子さん（30）の長女、李緒ちゃん（5）立取手小5年Ⅱが骨髄移植の手術に無事成功し、十九日に取手市役所で記者会見し、元気がなった姿を披露した。李

から「骨髄移植をしなければ治らない」と説明を受けた。空気を感染や発熱を起しやす

い状態が続き、同十一月上旬には県立こども病院に転院、治療を続けてきた。

この日、李緒ちゃんは家族らと市役所を訪れ「退院できて、とてもうれしい」と満面の笑みを浮かべた。まだ外で遊ぶことができないが、体調は良く、現在は家の中で友達と会ったり読書をした

「退院できてうれしい」

母・雅子さん「未来頂き感謝」

緒ちゃんは「ありがとう（ござ）者」がおらず、家族らと「骨髄バンクを支援するいばらき李緒ちゃん（2000年6月の会）のメンバーは、ドナー登録を呼び掛けてきた。熱心な活動が実りその後、十七人の候補者が見つかり、そのうちの一人が李緒ちゃん

の型と適合、四月下旬に骨髄移植の手術を受けた。約十三

月、急性骨髄性白血病で千葉の慈恵医大柏病院に入院。熱心な活動が実りその後、十七人の候補者が見つかり、そのうちの一人が李緒ちゃん

の型と適合、四月下旬に骨髄移植の手術を受けた。約十三

期で治るとされたが、再入院後

2002/8/20茨城新聞 社会面

骨髄バンクのボランティアを応援してください

骨髄バンクを支援するいばらきの会では、茨城県内で骨髄バンクの普及啓発をボランティアで行っています。

活動資金は皆さまの善意の寄付によってまかなわれています。ボランティア活動への応援をお待ちしております。なお、ご面倒でもご寄付と会費の納入は郵便振替でお願いします。

郵便振替口座名義:00110-3-127575

加入者名義:骨髄バンクを支援するいばらきの会

事務局より

事務局からご協力をお願い

この秋に予定されている3つのイベントに参加される方は駐車場の都合等ありますので事務局までお知らせください。特に**県民まつり**については多数の来場者が予定されており当会からの参加者が足りません。はじめての参加でも大歓迎！です。皆様ご協力お願いします。

皆様方のお住まいになっている各市町村や企業などでのイベントがありましたらお知らせください。骨髄バンクのPRに役立てたいと考えております。ご協力お願い致します。

年度年会費納入のお願い

皆様からの会費は大切な運動資金です。有効に活用致します。また善意のご寄付もよろしくお願い申し上げます。 年会費 一口 2,000円 何口でも

会費納入とご寄付をありがとうございました

(2002年7月11日～2002年9月30日現在) (順不同、敬称は略させていただきます。)

寄付: 瀧公恵4,500円8/18 会費: なし

会報発行: 骨髄バンクを支援するいばらきの会 <http://www.marlow.or.jp/ibaraki>

発行責任者: 牛島英二 編集: 伊井義人・山崎揚久

<事務局> 〒311-1415 茨城県鹿島郡旭村造谷605くるみ屋内

TEL: 090-8306-7111/FAX: 0291-37-1425/E-mail: yamazaki@kurumiya.com

編集後記

暑い暑い、そして充実？した夏も過ぎ、これからは実りの秋です。我々の活動も実りの秋といきたいところですね。

今度こそはと思いつつ、やはり今号も会報発行が遅れてしまいました。トホホ・・・ (伊井)

会報の印刷はキャノンLBP-220モノクロA4プリンター(くるみ屋所有)やFC220S A4コピー機(いばらきの会所有)を使っています。今回の会報は6ページで印刷するのはちょっと時間や手間がかかります。できれば見開きのA3版での会報が印刷できればと考えたりもしています。

どこか安めのプリンターないかな？(山崎)

11月の登録会もちょっとここで告知します。

11月24日(日)茨城大学(水戸)学園祭でのドナー登録会(打ち合わせ中)担当:山崎

11月26日(火)下館市役所 献血並行型ドナー登録会 担当:鈴木

特定非営利活動法人全国骨髄バンク推進連絡協議会

骨髄バンクのお問い合わせは 0120-892-106、office@marlow.or.jp、<http://www.marlow.or.jp> まで

患者電話相談 白血病フリーダイヤル 0120-81-5929

毎週土曜日 10:00～16:00 *毎月第2・第4土曜日は血液専門医もご相談をうかがいます

(財)骨髄移植推進財団 ホームページ <http://www.jmdp.or.jp>

ドナー登録についてのご質問・お問い合わせは

財団フリーダイヤル 0120-445-445 または ドナーズネット <http://donorsnet.net> まで